

第 28 回 日本外来小児科学会 予防接種・感染症対策委員会 議事録

日時：令和 3 年 7 月 17 日（土）19：00～21：10

ZOOM によるオンライン会議

太田、落合、神谷、崎山、田川、田原、永井、中村、藤岡、牟田、八木、吉川、渡辺
(50 音順)

報告事項

1. 予防接種委員会から予防接種・感染症対策委員会に変更となった件
学会理事会で承認を得た
2. 第 30 回 日本外来小児科学会 年次集会準備状況
教育講演 わが国の予防接種制度の問題点と解決に向けた道のり 藤岡先生
3. 日本小児科学会予防接種・感染対策委員会報告（吉川）
コロナ関係の情報収集、HP での情報提供 ムンプスワクチンの調査
Vaccine hesitancy について
5. おたふくかぜワクチンの副反応調査
感染研と小児科学会で実施中、20 万件の登録が目標であるが、コロナやワクチンの供給停止を受けて、調査が滞っている。現在 5000 件程度
副反応の入力がわかりにくい。
1 件の髄膜炎症例、副反応として入力されているものの検証が必要
現場の声が届いているか？ 問題点を神谷先生に伝えることで、情報を届ける。

協議事項

1. ワクチンの副反応の因果関係を解析するデータセットの構築（神谷）
調査研究方法検討会に演題提出して、中身の議論をする
一斉メールを使用して、副反応についての調査をする。
(案) ①コロナワクチンを接種したのちに、心筋炎・心膜炎の症例はあったか
②心筋炎・心膜炎の症例はあったか？その症例はコロナワクチンを接種していたか
2. 予防接種教育の e-learning 教材（神谷）
予防接種リサーチセンターのサイト上に置いていたが、予算の関係で維持ができなくなっている。
三重大学が一部内容を変更して、学生への教育に使用する
内容は、医師向けのほかにも、看護師・事務向けのものがあり、有用。
このまま埋もれてしまうのはもったいない。

著作権については、問題ないので、中身を本学会で転用していくことは可能か
コメディカル向けのコンテンツを作っている 山本理事に紹介も可能

3. 日本外来小児科学会の e-learning 問題について (崎山)

問題作成の上でのルールについて。(設問設定の仕方)

そのうえで、項目をリストアップした、委員が選んだ分野の問題作成をしていく
選ばれなかった項目は、崎山・中村で各委員に個別で依頼

4. コロナワクチンについて

12-15 歳のコロナワクチン接種が間もなく始まる。

リスクの提示が十分にされているか

インフォームド アセント は不要か？

副反応調査はどうか？ → 比較の上で、年齢別に副反応の定義をしっかりと作ったうえで
調査をする必要がある。順天堂大が実施するか？

本学会としては、神谷先生の考える、一斉メールでの方法での調査がやりやすい。

例 コロナと心筋炎

5. 委員の交代について

渡辺先生が、定年退官したことにより、委員の退任の申し出があった

新規の委員として

中野貴司 先生 (岡山・川崎医大) 齋藤玲子 先生 (新潟・新潟大)

西藤成雄 先生 (滋賀・西藤小児科アレルギー科) 内諾済み

長井健祐 先生 (福岡・長井小児科医院) 牟田先生推薦 内諾未

今後役員会にかける

6. 感染症対策委員会としての今後の活動について

ガイドラインの利用についてのアンケート

ガイドラインの使用状況について調査する。アンケート項目について検討

次回委員会 定例は年に 2 回 オンラインでの会議は随時 (e-learning 関係で実施するかもしれない)